

3 大型MICE施設の意義と効果

Q13 大型MICE施設ではどれくらいMICEが開催される見込みですか。

A 世界では、アジア・太平洋地域の経済成長に伴い、シンガポール、中国、香港など、アジアの拠点地域における国際会議の件数や展示会の開催面積がともに増加傾向にあるなど、MICE需要が増大しています。

沖縄県内でも経済界を中心として大規模な展示会等の開催ニーズが高まっていることから、沖縄県では、国内外の様々なMICE需要を積極的に取り込むため、沖縄MICE振興戦略を策定し、沖縄MICEネットワークを設立しました。

これらの取組を進めていくことで、大型MICE施設では、経営が安定する12年目には、参加人数 1,000 人以上の大規模な催事が年間 164 件開催されると見込んでいます。

■ 大型MICE施設 目標催事件数(参加者1,000人以上)

種別	内容	初年度 (12ヶ月)	6年目	12年目
M	企業等のミーティング グループ企業の役員会議等	8	12	16
I	企業の報奨旅行や研修旅行等	11	17	22
C	国際団体、学会等が主催する学術会議等	9	14	18
E	展示会、見本市、コンサート等	22	33	44
その他	大学の入学式、卒業式 企業の就職試験等	32	48	64
合 計		82	124	164
参加者数		50万人	76万人	101万人

3 大型MICE施設の意義と効果

Q14 どれくらい経済波及効果や雇用効果がありますか。

A MICE 開催を通じた主催者、参加者、出展者等の消費支出や関連の事業支出は、MICE 開催地域を中心に大きな経済波及効果を生み出します。

大型MICE施設の運営や周辺ホテル宿泊などによる経済波及効果は、毎年603億円に上り、また、雇用効果は年間約 7,873 人と試算しています。

さらに、大型MICE施設及び周辺ホテルの整備により 1,501 億円の経済波及効果があると試算しています。

■ 大型 MICE 施設による経済効果及び雇用効果

項目	建設時における効果	運営時における効果
経済波及効果	1,501億円	603億円/年
雇用効果	—	7,873 人/年

※H29.6. 28時点の試算値。

※運営時における効果は12年目の目標達成時の数字。

■ 参考資料（他産業の経済波及効果及び農林水産業産出額）

項目	金額	年(年度)
○沖縄県における観光関連の経済波及効果		
リゾートウエディング	225億円	平成28年
キャンプ合宿・自主トレ	38.7億円	平成27年
○農業算出額		
耕種計(さとうきび・野菜・花き等)	508億円	平成27年
畜産計(肉用牛・豚・鶏等)	426億円	平成27年
○漁業生産額		
漁業総生産額	187億円	平成26年

3 大型MICE施設の意義と効果

Q15

MICEの開催は、どのような業種にビジネスチャンスがありますか。

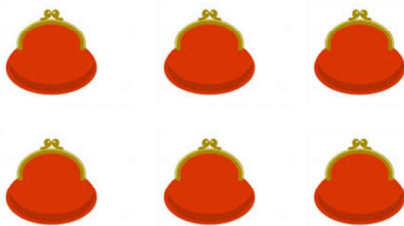
A

一般的にMICEには、参加者側（個人）の財布と主催者側の財布の2つの財布があると言われており、一般観光と比べて大きな経済効果があります。

参加者側の支出としては、交通費や飲食代、宿泊費、土産品の購入、観光地巡り等、観光関連産業を中心とした波及効果が期待できます。

また、主催者側の支出としては、会議場の賃借料や広告・印刷費、会場の設営費、飲食費、記念品販売など、さまざまな産業に波及効果が期待でき、観光業のみではない様々な業種にビジネスチャンスが訪れます。

参加者(個人)



- 宿泊費、飲食代
- 交通費(バス、タクシー、レンタカー)
- 観光地めぐり
- 土産品購入費

観光関連産業を中心に波及

MICE主催者



- 会議場借り上げ経費
- 輸送費、広告・印刷費、HP作成
- イベントステージ設営費
- 懇親会、体験プログラム
- 記念品販売、各種サービス提供

様々な産業に波及

⇒ “2つの財布”から支出されるMICEは新たなビジネスチャンス！

3 大型MICE施設の意義と効果

Q16 地域や住民へもたらされるメリットはどのようなものがありますか。

A MICEでは、地域住民を含む一般客向けの展示会や見本市があり、最先端の商品・技術に触れることができる他、MICE主催者による市民講座等で、地域住民への多様な教育機会が提供されます。



また、国際的なMICEが開催されると、開催地域には多くの外国人参加者が訪れるため、地域が積極的にMICE参加者と交流することで、異文化理解の促進や国際的な慣習等を理解し、地域のグローバル化の進展が期待できます。



また、来県するMICE参加者の多くは、催事の前後に県内各地域を観光する傾向があり、観光客としての再来訪も期待できることから、MICE施設の周辺にとどまらず、離島地域を含む全県にメリットがもたらされます。



3 大型MICE施設の意義と効果

Q17 大型MICE施設は日本全体のMICE振興に貢献できますか。

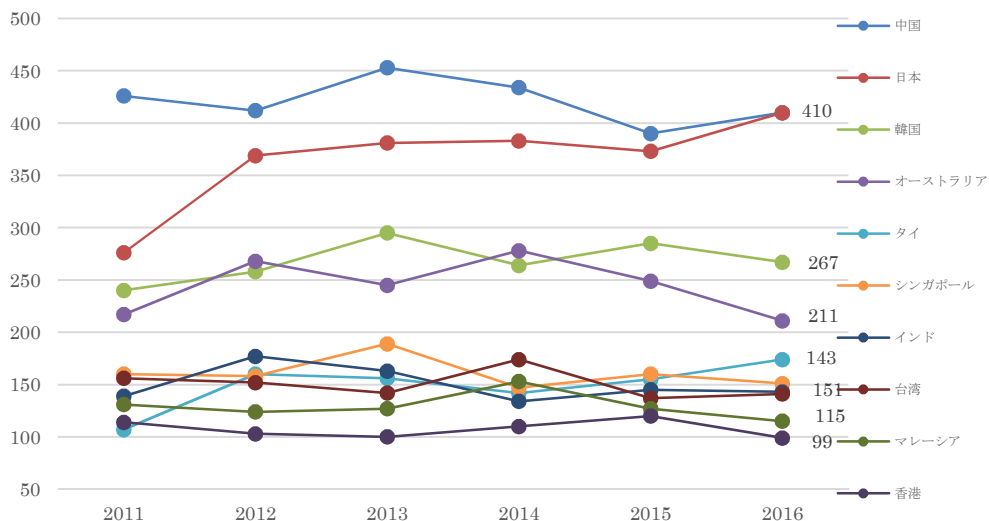
A 世界のMICE市場では、アジア・太平洋地域における経済発展の流れに連動する形でMICE需要が増大し、催事内容も多様化・大型化しています。

シンガポール・韓国・タイなどでは、産業競争力を高める都市戦略や経済戦略の一環として、国を挙げてMICEの誘致に取り組むなど、国際的なMICE誘致の競争は激しさを増しています。

我が国でも「2030年には、アジア No.1 の国際会議開催国としての不動の地位を築く」（日本再興戦略）との目標を掲げ、政府全体でMICE誘致の支援体制を強化する取組が進められています。

こうした中、沖縄県では、アジアをはじめとする国内外の様々なMICE需要を取り込むため、大型MICE施設を建設することとしており、これまで規模不足や機能不足によりアジアの周辺国へ流出していた案件を受け入れることにより、政府が掲げる目標達成に寄与することが出来ます。

■ アジア・オセアニア地域の上位 10 か国の国際会議開催件数の推移



出所) ICCA 統計を基に日本政府観光局 (JNTO) 作成

3 大型MICE施設の意義と効果

Q18

大型MICE施設を整備することで、沖縄の将来はどう変わりますか。

A

沖縄県では、アジア・太平洋地域の活力を取り込む"沖縄経済成長のプラットフォーム(ソフトインフラ)"としてMICEを位置付け、経済界・産業界、大学等研究機関、学会・協会、NPO等の各種団体と行政関係団体の連携体制を構築し、戦略的なMICE振興を図っていくこととしています。

リーディング産業である観光リゾート産業では、ビジネスツーリズムを沖縄観光の新機軸とし、沖縄のリゾート資源を生かした企業ミーティングやインセンティブ旅行、国際的なコンベンションなどが多数開催されることを通じて、"沖縄=ビジネスリゾート"という新しい沖縄観光のジャンルを開拓していきます。

また、情報通信関連産業、国際物流関連産業、農林水産業、ものづくり産業、飲食・小売業、建設業、サービス業といった様々な産業分野においても、MICEを積極的に活用した産業振興に取り組むことで、MICEから派生するビジネスの振興や新たなMICE関連産業が創出されます。加えて、国際的な展示会等が大型MICE施設で多数開催されることによって、沖縄県が目指す"アジアにおけるビジネス交流拠点"としての新しい都市ブランドが構築されます。

このように、MICEがもたらす社会的・経済的波及効果を最大化していくことで、県民がMICEによる効果を実感できる社会がつけられ、MICEに積極的に関わっていくという好循環がもたらされることから、将来的には我が国を代表する国際的なMICE都市としての飛躍的発展につながるものと考えています。